

施策名：「知（地）の拠点」としての大学等との連携

事業名	担当課・室名	ページ
地方創生大学等連携プロジェクト支援事業	政策企画課	1 / 3
公立大学法人運営費交付金(大分県立芸術文化短期大学)	政策企画課	2 / 3
公立大学法人運営費交付金(看護科学大学)	医療政策課	3 / 3

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成29年度)

(評価実施年度：平成30年度)

別紙2-4

事業名	地方創生大学等連携プロジェクト支援事業		事業期間	平成28年度～平成30年度		政策区分	生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造				
	総合評価			A		継続・見直し	事業実施課(室)名	政策企画課		評価者	政策企画課長 磯田 健
施策区分	「知(地)の拠点」としての大学等との連携										

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	地方から東京圏への転入超過は、大学入学時及び大学卒業・就職時に集中している。 地方の人口減少を克服していくためには、意欲と能力のある若者が地域において活躍できる場の創出等が課題となっている。	事業の目的	地方創生に向けた地域に貢献できる人材の育成や若者の地元定着を図るため、大学等が持つ研究開発やシンクタンク機能、学生の活力を活用するなど、「知(地)の拠点」である県内大学(COC+参加大学/大分大学、県立看護科学大学、日本文理大学、別府大学)等と連携した取組を行う。 ※COC+ 大学が地方公共団体や企業等と協働して、地域が求める人材を養成するために必要な教育プログラムの開発等を実施する事業(文部科学省補助事業)
-------	--	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
①地域連携課題解決支援事業 学生が地域の生活文化、産品などの魅力に会い、人々との交流を通じながら地域課題の解決に取り組むために、大学が実施する現場体験型プログラムを支援(16プログラムの実施)	①	3,123	総コスト	10,914	10,909	10,928
②サテライトキャンパスおおいの支援事業 若手社会人等の知識・教養を深める場を提供するために、大学等が連携して実施する公開講座・講義の開催を支援(12プログラムの実施)	②	2,592	事業費	5,914	5,909	5,928
③九州・山口連携事業負担金 九州・山口各県や経済団体、大学等が連携し、産業人財育成や若者の定着・確保に向けた「九州・山口地域産業人財育成フォーラム」を開催(宮崎県で1回開催)	③	200	(うち一般財源)	5,914	5,909	5,928
④九州・山口連携事業負担金	④		人件費	5,000	5,000	5,000
計		5,915	職員数(人)	0.50	0.50	0.50

活動指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(30年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(30年度)	評価割合	評価
	地域連携課題解決支援事業の参加学生数(人)	目標値	240	240	330	330	53%	九州・山口地域産業人財育成フォーラム開催(回)	目標値		1	1	1	3%	
	実績値	290	373					実績値		1					
	達成率	120.8%	155.4%					達成率		100.0%					
サテライトキャンパスおおいの支援事業参加者数(人)	目標値	240	240	330	330	44%		目標値							
	実績値	366	400					実績値							
	達成率	152.5%	166.7%					達成率							

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(30年度)	評価	事業の成果
COC+参加大学の県内就職率(%)	目標値	45.0	46.0	49.0	49.0	a	県内大学と連携して地域課題の解決、魅力発見のためのプログラムを実施することにより、多くの学生や社会人に対して地域への関心を高めることができた。	
	実績値	41.5	46.1					
	達成率	92.2%	100.2%					

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> 多くの学生や社会人の参加を得てプログラムを継続させていくための、プログラム内容の見直し等の実施 プログラム内容の更なる充実を図るための大学間の連携強化 	今後の事業方針 <ul style="list-style-type: none"> 参加者や地域の関係者に対するアンケート等を通じて、参加者のニーズに合わせたプログラム内容の見直し・新規開発を行い、より魅力的なプログラムを提供 COC+参加大学に加え、新たに参加した立命館アジア太平洋大学等によるプログラムの実施 				

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成29年度)

別紙2-4

(評価実施年度：平成30年度)

事業名	公立大学法人運営費交付金 (大分県立芸術文化短期大学)		事業期間	平成18年度～平成 年度		政策区分	生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造
	A			事業実施課(室)名	政策企画課	施策区分	「知(地)の拠点」としての大学等との連携
総合評価	継続・見直し		事業実施課(室)名	政策企画課	評価者	政策企画課長 磯田 健	

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	少子化の中での学生確保に向け、特色あるカリキュラムの編成、生涯学習講座の充実、芸術文化ゾーンとの連携の強化や、機能充実のための施設整備など魅力ある大学づくりが課題となっている。	事業の目的	大学に中期計画の確実な実施を求めため、中期計画に沿った業務運営を行うに当たり必要とされる経費のうち、法人の自己収入である授業料等で賄うことのできない財源を交付する。
-------	--	-------	--

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
①大分県立芸術文化短期大学の運営 運営費交付金の交付	①	545,999	総コスト	452,135	550,999	448,485
	②		事業費	447,135	545,999	443,485
	③		(うち一般財源)	447,135	545,999	443,485
	④		人件費	5,000	5,000	5,000
	計	545,999	職員数(人)	0.50	0.50	0.50

活動指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
	就職率(%)	目標値	90.0	90.0	90.0					100%	目標値				
実績値		98.4	96.8				実績値								
達成率		109.3%	107.6%				達成率								
目標値							目標値								
実績値							実績値								
達成率							達成率								

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
	事業年度計画の進捗状況(点)(評価委員会による事業年度評価)	目標値	100	100				
実績値	105	105						
達成率	105.0%	105.0%						

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> 県立美術館の開館(平成27年)、県内各地でのアートプロジェクトの開催など、新たな芸術・文化の動きを教育研究活動の実施 大学が持つ芸術文化やICTなどの創造性を生かし、クリエイティブ産業へ挑戦する企業と連携 大分県の地方創生への取り組みへ県立大学として積極的に貢献 機能充実のため、キャンパス整備を着実に実施 	今後の事業方針 <ul style="list-style-type: none"> 芸術系と人文系の学科の併設を生かした職業人の育成 県立美術館やリニューアル後のキャンパスを活用し、クリエイティブ産業と連携した教育機能の充実強化 地方創生に資する地域貢献 キャンパス整備の計画的な実施と、県、大学、施工業者の連携による施工中の安全管理の徹底 		●		

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成29年度)

別紙2-4

(評価実施年度：平成30年度)

事業名	公立大学法人運営費交付金（看護科学大学）		事業期間	平成18年度～平成 年度		政策区分	生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造	
	A			事業実施課（室）名	医療政策課		施策区分	「知（地）の拠点」としての大学等との連携
総合評価	継続・見直し				評価者	医療政策課長 西永 和夫		

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	18歳人口の減少の中で学生の獲得競争が激化している。県立大学でも魅力ある大学に向けた取組が行われているが、今後さらに質の高い看護職員を養成し、県内医療機関への定着を促進することが課題となっている。	事業の目的	大学の運営に関する中期計画の確実な実施を求め、業務運営にかかる経費のうち、授業料等の自己収入では賄えない経費について、運営費交付金を交付する。
-------	--	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
①大分県立看護科学大学運営 運営費交付金の交付（平成29年度593,664千円） （看護科学大学の取組） ・教育研究の質の向上 看護師、保健師、助産師の養成、養護教諭課程の開設、特定行為看護師の養成 ・経営及び財政の適正化及び効率化 光熱費、委託管理費の削減	①	584,067	総コスト	596,586	603,664	603,416
	②		事業費	586,586	593,664	593,416
	③		(うち一般財源)	578,826	585,804	585,556
	④		人件費	10,000	10,000	10,000
	計		584,067	職員数(人)	1.00	1.00

活動指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
看護学部卒業生の県内就職率(%)	目標値		50.0	50.0	50.0		70%	目標値						a	
	実績値		57.9	45.1				実績値							
	達成率		115.8%	90.2%				達成率							
	看護師国家試験の合格率(%)	目標値		100.0	100.0	100.0		30%	目標値						
		実績値		96.1	100.0				実績値						
		達成率		96.1%	100.0%				達成率						

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果	
								目標値	実績値
事業年度計画の進捗状況(ポイント) ※評価委員会での事業年度評価5項目5段階をポイント化(S-20 A-16 B-12 C-8 D-4)	目標値		84	84	84		a	<ul style="list-style-type: none"> 100の実習受入施設との会議を経て、実習ガイドブックの大幅な改善を実施 保健師、助産師、看護師の国家試験において、全て100%の合格率を達成 産学官連携の成果として、地元企業と共同開発の高齢者向け椅子がグッドデザイン賞を受賞 	
	実績値		88	84					
	達成率		104.8%	100.0%					

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> 第3期中期目標の達成に向けた取組 看護師国家試験の合格率向上 卒業生の県内定着率の向上 特定行為の看護師の診療報酬での評価 	今後の事業方針 <ul style="list-style-type: none"> 中期目標や大学へのニーズを踏まえた中継計画の実行 県内定着率の向上を図るための県内出身学生の確保 特定行為研修、NP教育の推進 				